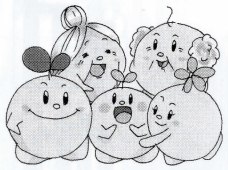
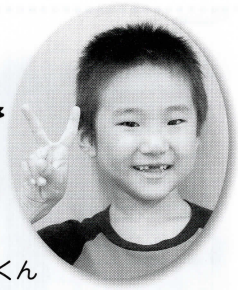
社会福祉法人　鶴田町社会福祉協議会



鶴田社協イメージキャラクター
たねまきクン

ふれあいひろば



題字　梅沢保育所　おさない　ゆうき　くん

みんなで参加する地域福祉

毎年鶴田町の皆さんから寄せられる、善意の募金。その募金で、鶴田町社協では様々な事業を展開しています。

でも、募金をされた方の中には**「強制じゃないのに、なぜ募金しないといけないの?」**と考えている方もいるのではないでしょうか。

その答えは、左の赤い羽根共同募金のロゴマークが教えてくれます。**「じぶんの町を良くするしくみ」**

いただいた募金は、他の町で使われるのではなく、鶴田町の様々な福祉事業に使われます。

皆さんからいただいた赤い羽根共同募金は、『鶴田町をもっと暮らしやすく、安心して生活できる町』にするために活用されます。

募金は「幸せの種まき運動」、「ほほえみ弁当お届けサービス（一人・二人暮らし宅お弁当配達サービス）」、「町内の小・中学校福祉活動への助成」、「社協だよりの発行」、「安心電話」、「歳末たすけあい募金配分」などの事業に使われています。（詳しくは毎戸配布の募金チラシをご覧ください。）

共同募金へのご協力をお願いします。

今年も町内会のご協力をいただきながら、ご自宅へ募金封筒をお届けします。鶴田町の様々な事業を推進するため、目安額を設定しています。目安額は、昭和61年から一世帯800円以上の募金をお願いしております。

決して強制ではありませんが、鶴田町の社会福祉事業発展のために、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

野木地区 ほのぼの交流事業
一人・二人暮らし宅訪問の様子

弁当お届けサービス
調理中の様子

発　行
〒038-3503　青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字沖津193
○編集と発行　鶴田町社会福祉協議会　TEL.２２－３３９４　FAX.２２－６３２２
HPアドレス：http://tsuruta-syakyo.or.jp/
○印　　刷　有限会社　アート印刷

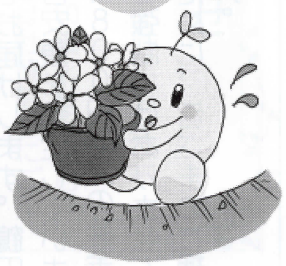
この広報は、赤い羽根共同募金の配分金によって発行しています。

初めての福祉の仕事
鶴田中学校職場体験

平成30年8月30日・31日の2日間の日程で、鶴田中学校1年生男子生徒3人による職場体験がありました。

体験場所は、鶴田町社会福祉協議会のデイサービスセンター「鶴東館」と就労継続支援事業所「鶴花塾」。

職員の指導で、正月飾り用の稲を20ｃｍに切る作業をしました。緊張した表情で真剣に取り組みました。



1日目は、「鶴花塾」の内職作業。2日目は「鶴東館」で、デイサービスのお仕事体験をしました。

3人はかなり緊張した様子で、お正月飾りに使う稲の長さを切りそろえる作業を行いました。その後はお花の鉢植え作業にもチャレンジ。

学校では、齋藤さんはサッカー部、奈良さんはバスケット部、長内さんは吹奏楽部で、勉強に部活に頑張っているとのこと。

学校生活とは全く違う体験でしたが、慣れないながらも皆さん一生懸命に取り組んでいました。

職員の指導で、初めて鉢に花を植えました。鉢のわきから土を入れるのが難しかったと話しました。

鶴田社協の一般介護予防

全て無料です★

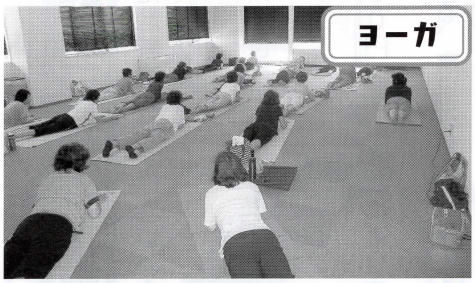
鶴田社協では、鶴田町に住む皆さんの、心と体の健康維持のため、様々な一般介護予防事業を展開しています。

メニューによっては、65歳以下の方でも利用できますので、是非社協に遊びに来てください♪

移動手段のない方は、鶴遊館へ送迎してくれる、介護予防送迎車（スマイル号）も利用できます。開催の日時・場所等のお問い合わせは、鶴田社協までどうぞ。

ココリラ倶楽部

笑いヨガ


ヨーガ

ココリラ体操

ゴニンカンクラブ

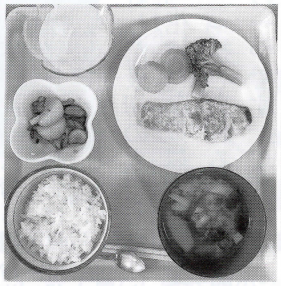
カラオケクラブ

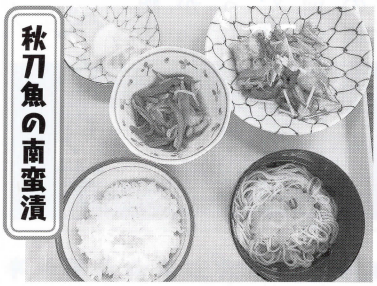
スマイルハウス

スマイルハウスは、毎週木曜日の10時から14時まで。書道教室、手芸クラブ、囲碁・将棋、大人の塗り絵、脳トレなどやっています。

月の最後の木曜日には、３００円で、食事も提供中！初めての方でも、すぐに仲間づくりができますよ。（食事を利用したい方は1週間前までにお申し込みください。）

書道教室


鮭のムニエル


秋刀魚の南蛮漬

手芸クラブ

平成30年度 地域歳末たすけあい募金 一人親世帯配分についてのお知らせ

鶴田町で集められた地域歳末たすけあい募金の中から次のとおり、配分を行います。

★配分対象
＊鶴田町在住で一人親世帯の中学3年生までの方

★配分予定金額
＊一人当たり3000円以内（人数により変動あり）
※鶴田町で使用できる、商品券を配布します。

★配分申請方法
＊児童扶養手当証書（青森県知事名で発行されているもの）
＊鶴田町ひとり親家庭等医療費受給資格証
＊戸籍謄本
（これらのいずれか一つと、印鑑を社協窓口までお持ちください。申請書は社協窓口にご用意しております。）

★申請期限
＊平成30年11月9日（金）まで

★配分方法
12月下旬に鶴遊館にて配布する予定です。
※お問合せ・ご質問は
鶴田町社協 地域福祉課・担当　神まで

善意の灯（平成30年5月11日～30年9月10日:敬称略）

一般寄付（金銭）

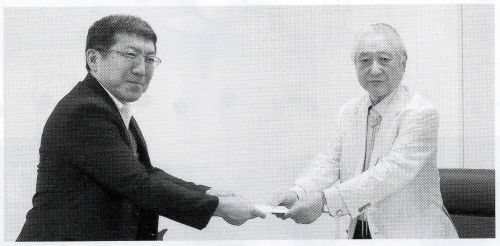
小野 恭逸	￥100,000
グループホームさきしり 桜庭 裕之	￥50,000
鶴田町料飲業組合 理事長 花田 正逸	￥46,608
須藤 繁喜	￥30,000
つるた乳幼児園	￥25,640
青森銀行鶴田支店 支店長 楢崎 亨	￥23,950
大和山鶴田教区 代表 下山芝規	￥15,000
匿　名	￥60,000
匿　名	￥50,000
匿　名	￥12,000
匿　名	￥4,232

一般寄付（物品）

小山内重夫	米30kg×6袋
原田 セキ	衣類多数
成田 慧子	鉢植え2個
匿　名	シャワーチェア、衣類他多数
匿　名	郵便葉書300枚
匿　名	凧2枚
匿　名	いちご
匿　名	タオルケット、毛布他多数
匿　名	リンゴ1箱

思いやりのこもった尊いご寄付をいただきました。鶴田町の社会福祉向上のため、大切に活用させていただきます。ありがとうございました。

福祉を支える人々



平成30年7月26日青森銀行鶴田支店楢崎亨支店長より、夕鶴まつりフリーマーケット収益金のご寄付をいただきました。寄付は、今年で20回目を数えます。大切に使わせていただきます。ありがとうございました。

つぶやき　初心忘れるべからず

「高砂や、この浦舟に帆を上げてー」と、時々、結婚式で謡うことがあります。これは謡曲「高砂」の一説を謡うもので、この謡と舞及び囃子で構成されている歌舞劇が能です。

この能は、六百数十年前の室町時代に観阿弥・世阿弥という能楽師の親子が大成したものです。

平成十三年には、ユネスコの世界無形文化遺産として、日本の「能楽」が第一号として認められました。

日本が世界に誇る舞台芸術「能楽」の基礎を確立した世阿弥は、能役者でもあり能作者でもあったとともに、能の芸道論なるものを著した最初の人でもあります。「風姿花伝」「花鏡」など数多く残しています。

「初心忘れるべからず」は、世阿弥の言葉の一つです。現代では、「物事に取り組み始めた時の初々しい気持ち」として使われています。世阿弥は、「芸が未熟であることを初心」と言っています。未熟である自分を自覚し、慢心してはいけないと戒めているのです。

私は、同じ職場の大先輩に勧められ、宝生流謡曲を習い始め、三十五年近くになります。

謡は、腹の底から声を出しストレス発散ができ、謡の中で小野小町や楊貴妃にも会えます。

皆さんも謡の稽古をしてみませんか？今度とも初心忘れることなく稽古に励んでいきたいと思っています。

（澁谷信一）